

---

○議長（藤井 要君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◇ 小 林 克 己 君

○議長（藤井 要君） 一般質問を続けます。

通告順位3番、小林克己君。

（3番 小林克己君 登壇）

○3番（小林克己君） 通告に従いまして、壇上よりの一般質問を始めます。

1、コミュニティバスについて。現在、長八美術館から、八木山方面への路線バスの利用状況が少ないと思います。そこで、岩科方面への、路線を廃止して、コミュニティバスを運行してはどうでしょうか。

2、働き方改革について。1つ、今年度予算の警備業務委託537万6千円は、働き方改革として、今年度から行われるものと考えてよいでしょうか。

2つ目、役場職員の勤務方式として、フレックスタイム制を導入してはどうでしょうか。

3、健康増進について。1つ、災害時の避難所における感染症対策の準備をどのように考えていますか。

2つ目、スポーツジムの設置について、旧依田邸の絹屋に体を動かすスペースを設けてはどうでしょうか。

3つ目、B&Gプールについて。昨年度の利用状況。

2つ目、トイレ洋式化への予定はあるでしょうか。

以上、壇上席からの、質問を終え、質問席からの質問とします。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 小林議員の質問にお答えします。

大きな1つ目、コミュニティバスについて、長八美術館から、八木山方面への路線バスの利用状況が少ない。そこで岩科方面の路線を廃止して、コミュニティバスを運行したらどうかということでもあります。お答えします。

当町のような地方の過疎地の地域公共交通については、全国同様の課題に直面しております。ご指摘の路線に限らず、町内の自主運行バス4路線についても利用者が少ないという課題はございますが、地域公共交通として東海バスに委託しているところであり、本年度は毎

年行われているバスの乗降調査の結果を検証し、利用者が少ない時間帯について、減便をいたしました。今後も住民ニーズを把握し、新しい公共交通のあり方について、具体的に検討してまいりたいと思います。

大きな2つ目、働き方改革について、その1、今年度予算の警備業務委託は、働き方改革として今年度から行われる予定ですかという事でございます。

本年度予算に計上した警備業務委託は、これまで役場の50歳未満の男性職員が行っていた宿直業務について、民間の警備会社へ委託するものであります。私は、町長になる前から役場職員が宿直業務を行うことに疑問を感じており、職員の健康維持や働きやすい環境づくりを第一に考えたもので、他の市町の状況を見ても職員が行っているところはほとんどありません。このような理由から、本年度予算に計上し実施すべく準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症対策により予算の組み替えが必要となったことから、警備業務委託については、職員組合に説明の上、1年延期することといたしました。しかし、職員の負担軽減のために、宿直警備業務委託が必要であるという考えに変わりはありませんので、来年度に実施してまいります。

働き方改革についての2つ目、役場職員の勤務方式として、フレックスタイム導入したらどうか。

誰もが働きやすいと感じられる職場環境が整うと、職員のモチベーションは自然と高まり、結果として仕事の効率が上がり生産性が向上すると言われております。フレックスタイム制は、職員の自主性を重んじ、労働時間を自己管理に委ねる制度で、職員によっては仕事に対するモチベーションを引き上げる効果が期待できる一方、適用を誤ると、労働時間の管理がかえってルーズになり、労働意欲の低下につながる恐れもあります。また、窓口業務などフレックスタイム制に向かない部署や職種もあることなどから、導入にあたっては、制度対象の明確化や労働時間の管理、課内の情報共有・連絡調整方法などについて、より深い議論が必要になると感じております。

小林議員の大きな質問の3つ目、健康増進について、その1、災害時の避難所における感染症対策の、準備をどのよう考えているかということでございます。

新型コロナウイルスの流行を受け、政府が5月18日に公表した災害で避難する際の注意事項において、避難所での感染を恐れて避難をためらわないように「危険な場所にいる人は避難が原則」としてはいますが、指定する避難所に避難するだけでなく、多様な分散避難を検討する必要があるとしています。たとえば、安全な場所にある親戚や知人宅に身を寄せる方法

や、自宅でも垂直避難や耐震補強などにより安全が確保できれば移動しない手段もあります。また、やむを得ない場合には、車中泊により避難する自助による方法もあります。町が設置する避難所においては、どうしても密集・密接になりやすい状況となり、感染リスクが高くなることや、感染の疑いのある方を別室に分ける必要があることなどにより、なるべく多くの避難所を確保したいところですが、避難所を運営するためには、配置できる職員も限られるため、避難者における避難所運営の協力が必要となります。このため、今後、HUG（避難所運営訓練）などを実施し、地域におけるリーダーを育成し、避難所運営をしていくことも考えております。また、感染予防のマスクや消毒液、防護服などの備蓄はもちろんのこと、避難者にも非常持ち出し品の中にコロナ対策備品を持参していただくなど、新しい避難についての周知や訓練を実施してまいります。いずれにしても自助、共助の取組みと公助の連携が大事だと考えております。

健康増進の2つ目でございます。スポーツジムの設置について、旧依田邸の絹屋はどうかということでございます。

町内のスポーツ施設につきましては、勤労者体育センターを含め、総合運動場などが整備されております。屋内でのスポーツ施設につきましては、現在、勤労者体育センターを町内・町外を問わずに貸し出しを行っており、加えて小中学校の体育館や旧岩科小学校、旧三浦小学校の体育館等についても一般の方々に貸し出しを行っていることから、既存の施設を利用していただくことが優先と考えております。このため、新たなスポーツ施設を建設する予定はありません。なお、旧依田邸は、文化施設ととらえており、スポーツ施設としての計画はございません。

3つ目、健康増進でございますが、こちらの分野は、教育長よりお答えしていただきます。よろしく申し上げます。

（教育長 佐藤みつほ君 登壇）

○教育長（佐藤みつほ君） それでは、小林議員からの3点目、健康増進についてのB&Gプールについて、昨年度の利用状況とトイレの洋式化への予定はありますかという質問でございます。回答いたします。

海洋センタープールの利用状況につきましては、令和元年度は、町内の利用者が11,778人、町外の利用者が1,460人、合計で13,238人と平成30年度と比較すると263人、率にして約2%減少しております。例年実施している小学生の水泳教室やB&G水泳大会の他に、リハビリや健康増進に活用してもらうよう健康福祉課に働きかけ、高齢者や障害者の利用に協力

してもらうことや、伊豆の温泉を活用したプールであり、年間を通して利用できる点などを観光関係者にもっとアピールしてもらうことにより、町外からの利用者の増加を図りたいと考えております。トイレの洋式化につきましては、温泉や水道の配管などを含め、施設全体が老朽化しており、費用対効果や住民サービスとの兼ね合いを検討しながら予算を確保し、優先順位を付け、改修してまいります。

以上です。

○3番（小林克己君） 1問1答でお願いいたします。

○議長（藤井 要君） 許可します。

○3番（小林克己君） 当町は、自主運行バス、東海バスに運行委託金として、今年度2,858万3千円を運行委託金として、支出しています。財政支出の削減が必要と、自分は感じております。寿タクシー事業や買い物支援事業なども含めて、松崎町民の交通手段を考える段階に現在きているのではないかと感じております。買い物バスや小中学生へのスクールバス運営事業や、現況今、空白地域と考えられている伏倉、石部、船田、門野地区への、需要を、デマンド、調査すべきだと考えております。また、道の駅から、池代への路線も検討していただきたいと考えております。コミュニティバス運行へまずは調査運行をされたらいかがでしょうかと考えております。そして、このような町を取り巻く状況の変化に対応すべく、経済戦略監を設立し、町民のために働いてくださる方、例えば、県より、県職員など、出向していただくとかの起用を考えてみてはどうでしょうか。道の駅の活性化、観光振興など、この町に合う経済戦略を考える時であると私は考えます。町長はどのように考えていますでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 小林議員、大変、良い質問でございます。私もまさにそのとおりだと思っております。この町は、歳をとって、車の運転ができなくなると買い物に行けなくなる、病院にも行けなくなるという、町であります。これでは移住者も、呼んでも来る訳がない。住んでいる人たちにとっても、非常に住みにくいという町になってる訳ですね。従って、買い物支援タクシーを出した訳です。非常に好評であります。そして、議員のおっしゃるように、路線バスを出してる訳ですけれども、協力も、資金のほうも、2,700万2,800万年間出してる訳ですけれども、それが本当に効果があるのかと。費用対効果があるのかと、いうことは、議員の時からずっと思っておりました。今、企画観光のほうでですね、いろいろと考えておまして、私も一緒に、考えて、住民がどういうふうを考えているのか、住民が、それをどう、その・・・今困ってないよというのに、いやいやとってお金をかけて作る

というのも、なかなか大変でございますので、住民がどういうことを考えてるのか、ニーズがあるのかと。ニーズに合ったようなものを、作っていききたいなと思っています。きめ細かく、例えば、門野の方まで、マイクロバスで行けるとか、雲見の上の方まで、行けるとか、そういう小回りのきく、小さいバスで、十分ではないのかなというふうに私は考えております。いずれにしろ、住民のニーズを捉えて、ですね、やっていきたいと思っています。これも相手のあることですから、すぐには決めませんが、ただ住民のニーズを・・・、ニーズがある限りは、それを追求していかなければいけないなと思っています。そして、経済戦略会議というのは、必要だと思います。そこら辺でね、議員の中にも、必要な方は入っていただいて、これから、どういうふうにしていったらいいのかという、ことをですね、実践的に、話し合う機会があったら、非常に良いなと思っています。前向きな、そういう会議がね。欲しいなというふうに思っています。

以上です。

○3番（小林克己君） かなり、コミュニティバスについて、前向きな回答いただけたと感じております。経済戦略監っていう、新しく人を、もう1人設けて、そこをリーダーの方のような形にしてでも、どうかとは考えてはいましたけども、いろいろな会議とか何かで、これから、そういう組織づくりを、多分、考えているという言葉いただきましたので、この1番のコミュニティバスについての質問は終わらせていただきます。

2番の働き方改革について質問させていただきます。1番の警備業務委託、これは今回、コロナがあったために、来年度から施行されるっていうことの確認で、これはよろしいところで、御質問は、質問は終わらせていただきます。また来年度、役場職員が働きやすいような、業務になるように、また、来年から、警備業務委託を施行していただきたいと思っております。

それで、2番の方にかさしてもらいます。2の2のほうの、この質問をさせていただいたのも・・・、例えば、女性職員など、朝、忙しくてなかなか時間がとれないような女性職員が、このような、時差出勤をすることによって、働きやすい職場になるのではないかという気持ちもあり、提案させていただきました。それで、フレックスの制度を導入して・・・、例えば、今のこの行政サービスが、5時までのやつが例えば5時半までとか、延長することができるようなことになれば・・・、例えば、今現在、こういう議会とか何かに傍聴・・・、普段来れない人たちが、5時半位までだったら来れるのかな・・・、なんていうことも、含めて、フレックスで、行政サービスの延長とか何かも考えた上での質問をさせていただきました。

それで、午前中に鈴木議員が多少質問された内容とかぶるような質問になると思いますけども、活力・魅力ある職場作りを目的として、業務環境の改善、向上を推進し、職員の士気を高めるため・・・、すなわち、良好な業務環境を整えるために、職員が提案を考えたとき、どのような対応されているのでしょうか総務課長。できたら・・・。

○総務課長（高橋良延君） 当然、職員が働きやすい環境づくりというような、第1に考えて、今やっているとございます。例えば今、小林議員から御質問ありました、職員からの改善提案という制度が松崎町役場内部にございます。こうしたほうが、もっと職場の関係は改善が図られるんじゃないかといった場合の提案制度がございますので、そういったことについては職員に、どしどし提案をしてもらいたいというようなことで考えておりますので、そういった制度は設けているということになります。

以上です。

○3番（小林克己君） 質問します。改善提案の制度があるという認識でいいということ・・・。業務委託などで、シルバー人材センターの職員とか何かを使うような時も、正直言うと、役場の職員に関しては多分あるかと思われれます。そのような、例えば、シルバー人材センターの方々から、例えば、こんなふうに、して働いたら、もっと、効率がよくなるのではないかという提案を受けるような、ことは可能なんではないでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） シルバー人材センターの関係につきましては健康福祉課の方が担当ということでありまして、その辺につきましても、事務局長のほうと、相談しながら、検討できればなと思っています。

○3番（小林克己君） それでは前向きに検討されているっていう形で、こういう改善の提案が受け入れられる環境にあるという認識でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、働き方改革についてはこれで終わらせていただきます。

3番の、この災害時避難所における感染症対策の準備をどのように考えているかっていうことで、この感染症対策は大変に難しい・・・、いろいろな課題があると自分は考えております。そこで、町民のために、直ちに、防災、危機管理監、もしくは、地域防災マネージャーとして適任者を選び、起用すべきではないかと、自分は考えております。当町のこの防災対策、医療対策への早急な強化対応をもって、災害時の避難所における感染症対策への一歩になるのではないかと自分は感じておりますけども、町長この辺はどのようにお考えを持っているのでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 私も、小林議員と同じような考えを持っております。従ってすぐとは

言いませんですけども、いろいろ防災班とか、あるいは健康福祉課の課の人たちとね、考えをまとめてですね、できうれば、すぐにではないかもしれないけれども、そういう防災監というのは、私は必要だと思っております。

以上です。

- 3番（小林克己君） 今の町長の答弁で、前向きに、防災監への設立・・・、それで任用適任っていうか・・・、そういうような、考えを持っているっていう、解釈をさせていただきます。町民のためにも、ぜひ、防災マネージャーっていいですかね、そういう人の起用をよく考えていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。

2番のスポーツジムの旧依田邸の絹屋における、質問をさせていただきます。スポーツ施設のあそこの用意はないとかって話を先ほどされました。あそこで、コミュニティスペースっていうか、人が集まって、ちょこっと、ヨガとか何か、できるようなスペースがあれば、あそこの横の温泉施設、化粧の湯、少し軽く汗をかいて、すぐ温泉に入れる、あそこの、一帯ですか、ちょっと、健康のための何かそういうような、町ではアピールできるような場所になっていくのではないかと考えまして、今回の化粧の湯も、湯質もかなりよく、健康にいいという、言われている、松崎の温泉の1つではないかと自分は感じております。そこで体を動かすスペースと体を動かして汗をかいたらすぐに温泉に入れる、一連の導線ができるのではないかって自分は考えております。その辺、お考えを・・・、やはり、そう考えても、やはり、スポーツ施設への考えは、ないでしょうか。できれば、考えていただきたいと思っておりますけども・・・。

- 企画観光課長（深澤準弥君） はい。今の質問ですけれども、基本的に、健康増進につきましては、今、松崎町民の方々、ウォーキング等々やっております、そのウォーキングの方でも大分やっています。スポーツクラブってことですけども、先ほどの回答にもありましたとおり、設備を作るにはやはりお金も時間もかかります。それをかけずに、健康増進、1番手っ取り早くできるのはウォーキングであったり、皆さんが集まって体動かす、太極拳であったり、ヨガも、やってる方もいます。松崎海岸なんかでも早朝から、ヨガ教室をやっている方もいらっしゃいますし、そういった意味では、設備をなくしても、そういった形での健康増進というのはできると考えておりますので、今すぐできるものではないものを使うのではなく、今言ったような形で三聖苑の駐車場に止めて、あの辺歩くとすごくいい景色もございますし、遊歩道も大分整備されておりますので、そういったものを活用した上で、温泉施設等を使っただけでいいのかなと思います。あそこの、地区には、露天風呂もあります

し、民宿もございますし、食堂もございます。そういった一つ一つの地域全体をですね、盛り上げるような形での、発展を目指していけたらなと考えております。

- 3番（小林克己君） 今の企画課長の答弁で、今のパーク構想ですか、パーク構想を強化していくっていう考え方を認識させていただきました。ぜひとも大沢地区のあそこの今、いろいろ停滞している、なかなか進んでないってような町民がイメージを持っている中、今、課長のほうから力強いお言葉をいただいて、町民の皆さんも多分ありがたく感じていると思います。ぜひ、力強くパーク構想、推し進めていって、ほしいと思っております。よろしく願いいたします。

健康増進についての3つ目の、B&Gプールについて質問させていただきます。よろしくお願ひします。1年前に、このB&Gについて質問させていただきました。そしてその時に、いろいろこの温泉を利用したプールであるとか、そういった特色を活かして、アピールしていきますよっていう話は、去年伺いました。実際に、今のお話ですと、2%の減ってという話を聞きましたけれども、実際自分もいろいろな人に話を聞きまして、今回、このコロナさえなければ、幼稚園児とか小さい子供たちが、記録会とか何かで、今まで使われていたからとかそういう小さい子供たちが、記録会とかなかったにもかかわらず・・・、そういうことを催す事はなかったけれども、そういう子供たちも記録会とか何かで、このB&Gのプールを利用しているっていう話を伺っております。っていうことを聞きますとこの2%減ってというこの数字よりも、ちゃんと当局がいろんな人たちに、利用促進しているのかなっていうことを感じております。是非とも、数字としては、2%減という数字にはなっていますが、自分が、町民からいろいろ聞いてる話だと、かなりの、いい感触の話を聞いております。是非、来年度、今年度、来年度と、どんどんプラスになってというような、施策を多分、うっていただきたいと、自分は感じております。その辺はまた、具体的な策があったら教えていただきたいと思ひますけれども・・・。

- 教育委員会事務局長（齋藤 聡君） 海洋センターのプールにつきましては、コロナの関係でやはり3月、あまり利用がなかったのかなというふうには考えております。ですが、今現在、町外からの団体から、利用の申し込みなんかもあるものですから、今後はそちらのほうの利用者のほうにも呼びかけて、利用の促進を促してまいりたいというようなことで今考えおります。

- 3番（小林克己君） やはりそうやって、町外の方とか何かやっば来ていただくとなると、やはり洋式化のトイレということ、優先順位っていう話も、正直言ってあるかと思ひます。

優先順位をワンランクでもちょっと上げていただき、早急にでも予算をつけていただくような考えってというのはありますでしょうか。

○教育委員会事務局長（齋藤 聡君） トイレにつきましては、やはり、ほとんど、前年度も勤労者体育センターの方を洋式化をしておりますので、海洋センターの方なんかも、洋式化していきたいなというようなことで今のところ考えております。ただ、やはりコロナの関係で、財源がちょっとどうなるかわからないというようなこともございますので、財政当局ともまた話をしながら、そちらのほうは、予算が立てるようであれば、改修を行っていくというようなことで現在考えております。

○3番（小林克己君） 今の答弁でいいますと、考え方があると、ただ財源がないから、今回ちょっとまだ、正式にやるっていう発言ができないっていう、解釈をさせていただきます。是非、早く、洋式化にできるような形をとっていただきたいと思っております。

時間が少し早いですけれど、小林の、この、一般質問これにて終わらせていただきたいと思えます。

ありがとうございました。

○議長（藤井 要君） 以上で小林克己君の一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。

（午後 1時34分）

---